

タチヒダゴケ科

コタチヒダゴケ

Orthtrichum exiguum Sull.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

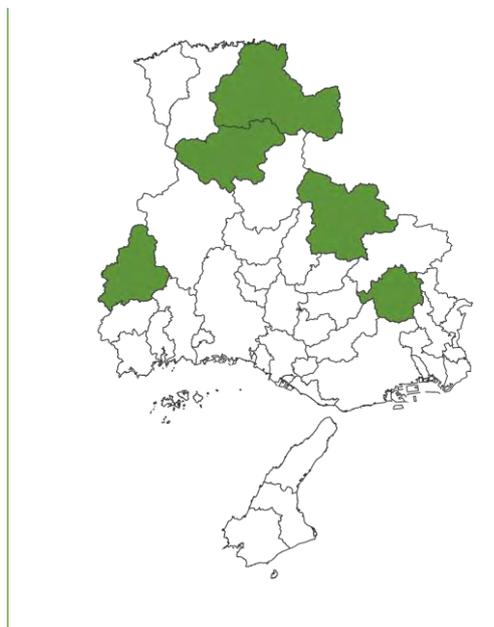
三田市、佐用町、豊岡市、養父市、丹波市

■ 国内分布

本州(中部以西)、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

日本産植物は蒴壁に気孔が無いことが報告されているが、兵庫県産も同様に気孔を欠いている。2020年版での新規掲載種。

■ 保護上の留意点

環境の保護

■ 種の概要

植物体は小型で普通種のコダマゴケ(タチヒダゴケ)よりも一回り小さい。茎は長さ3-5mmで小さな塊をつくる。葉は下部で小さく、上部は密で大きく、長さ0.6-1.0mm程度。乾くと強く茎に接する。葉は楕円形から卵状楕円形、鈍頭。中肋は葉頂下に達する。葉身細胞には数個のパピラがある。雌雄同株でよく孢子体をつける。蒴柄は非常に短く、蒴の上部が雌苞葉の間からわずかに見える。蒴は球形だが乾くと短い円筒形に見える。気孔は表生。内蒴歯と外蒴歯は同じくらいの幅がある。葉の上に小さな紡錘形の無性芽をつける。並木等の樹幹によく見つかる。